

一般質問 (2)

市民会館閉館から新施設建設へ！
その間の代替施設の確保支援を！

浜中 のりかた (自民)

市民会館閉館後、新施設建設までには時間がかかる。代替施設の確保を求める！

質問 市民会館閉館後の代替施設に対する対応は、

答弁 代替施設一覧を作成し、情報提供をしている。

意見 代替場所のほぼない学習室を公民館やコール田無等に確保してほしい。また、公共性の高い幼稚園等が実施するホールでの発表会等にも支援を求める！

質問 市内の子どもの食堂の現状と支援に対する考えは、

答弁 市内に9団体あることは把握している。団体に意見を伺い、今後の支援について検討する。

意見 子どもの居場所づくりのために、民間の取り組みである子ども食堂への市のサポートは重要である。田無駅南口駅前広場の一日も早い完成を！

質問 現在の進捗状況は、

答弁 3月20日に事業認可を取得し、5月21日に権利者への説明会を実施した。今後は関係権利者と丁寧な話し合いを行う。民間の再開発事業に、市は一切関係ない旨を説明している。

意見 駅前広場だけでなく、道路がなければ効果が半減する。あわせて都市基盤整備も要請する。権利者の共同建て替えには支援を。

職員採用について ひばりヶ丘駅
南口の駅前交番移設について

田中 のりあき (自民)

職員採用については、近年の高い有効求人倍率から、学生にとって売り手市場と言われている。そのような現状から、インターンシップによる職員採用について、積極的に活用すべきと考えるが、見解を問う。

質問 職員採用については、

答弁 本市の人材育成方針に基づき、インターンシップ制度を活用し、学生の就業意識の向上や、市政に対する理解を深める機会として、積極的に活用する。

意見 民間企業では、インターンシップに参加した学生との関係継続について、さまざまな取り組みを行っている。本市でも、ルールに沿ってインターンシップ参加後も市の業務を理解できるように接点をつくらねいかと考えるが、見解を問う。

答弁 平成30年4月以降、複数回に渡り監視庁と意見交換を行い、移設場所の提案や、移設の再考についてお願いしている。



慢性痛対策を抜本的に進めるべき

保谷 なおみ (自民)

質問 慢性痛対策が必要と考えるが、見解を問う。

答弁 慢性痛にお悩みの方は、痛みによる不安や恐怖が強いと、引きこもりがちになり、不眠になるとも言われている。市の講座や相談事業の活用とともに、フレイル予防事業に参加していただき、筋肉の衰えに早めに取り組み、主体的に介護予防に取り組んでいただくよう、啓発に取り組む。

意見 慢性痛にはさまざまな治療法がある。人によっては適切な対策に結びつかず、医療機関、民間療法と機関をいろいろ変えて通院するが、それでも改善しないで苦しんでいる人も多い支援が必要だ。

質問 道路占有料の改定を検討しているとのことだが、

答弁 第1種電柱で、本市は1千800円。これに対し、



さまざまなイベントが楽しめる東伏見公園

もっと健康！もっと元気に！
みんなで進める、まちづくり！

酒井 こう一郎 (自民)

総合基本計画について

質問 健康応援都市の実現に向けて総合計画の中で位置づけるべきだ。考え方は、

市長 後期基本計画に統合し取り組みを加速化したい。

質問 地域コミュニティの圏域と子育て支援サービスの地域割りなど、近いものもある。遠いものもある。エリア設定の整備状況は、

市長 整理し、新たな相談機能体制の構築を目指す。

質問 公園行政について

市長 公園配置計画には、市民のやってみようという企画を支援するところがあるが、今後

質問 公園配置計画には、市民のやってみようという企画を支援するところがあるが、今後

市長 整理し、新たな相談機能体制の構築を目指す。

質問 公園配置計画には、市民のやってみようという企画を支援するところがあるが、今後

て、学生の受け入れを行っている。今後は民間の取り組み等も参考に、インターンシップを積極的に活用し、本市の新たな人材や専門性を持つ人材の確保を検討する。

質問 第1回定例会で、ひばりヶ丘駅南口交番の駅前広場周辺での設置の再検討を要望した意見書が全会一致で可決されたが、市としてどのような働きかけを行ったのかを問う。

答弁 平成30年4月以降、複数回に渡り監視庁と意見交換を行い、移設場所の提案や、移設の再考についてお願いしている。

質問 慢性痛対策が必要と考えるが、見解を問う。

答弁 慢性痛にお悩みの方は、痛みによる不安や恐怖が強いと、引きこもりがちになり、不眠になるとも言われている。市の講座や相談事業の活用とともに、フレイル予防事業に参加していただき、筋肉の衰えに早めに取り組み、主体的に介護予防に取り組んでいただくよう、啓発に取り組む。

意見 慢性痛にはさまざまな治療法がある。人によっては適切な対策に結びつかず、医療機関、民間療法と機関をいろいろ変えて通院するが、それでも改善しないで苦しんでいる人も多い支援が必要だ。

質問 道路占有料の改定を検討しているとのことだが、

答弁 第1種電柱で、本市は1千800円。これに対し、

市長 整理し、新たな相談機能体制の構築を目指す。

質問 公園行政について

市長 公園配置計画には、市民のやってみようという企画を支援するところがあるが、今後

市長 整理し、新たな相談機能体制の構築を目指す。

質問 公園配置計画には、市民のやってみようという企画を支援するところがあるが、今後

超高齢化社会の到来
西東京市は生き残れるのか

浅野 高司 (自民)

リース料が9億6千600万円する仮庁舎を14年間しか使わないのはもったいない。将来の負担を考え生かす方法を検討すべき。

答弁 平成45年度に統合庁舎を整備後、仮庁舎は解体を想定している。解体費用等は、解体前に協議する。

質問 団塊の世代が3年後に75歳を迎える。市の厳しい財政状況について、難しい説明ではなく、伊丹市のように漫画を使うなど中高生でもわかる説明が必要だ。

答弁 市報やホームページで広く周知し、財政白書等の作成にはさらなる工夫に努める。

質問 公園の砂場が犬猫の

市長 住民の皆様が交流を図ることが目的である。

意見 現在は市民レベルの交流はできていない。姉妹・友好都市のよき、本市の長所を実感するための市民団体同士の交流を目的とした補助制度の創設を求める。

質問 将来、市が史跡指定を考えている範囲には多くの方がお住まいになられている。過去の遺跡も大事だが、現在生活されている方々の声をしっかりと聞き、丁寧な対応が必要である。市の考えは、

答弁 皆様の意思を尊重し、不安感を持つことのないよう丁寧な対応に努める。

市長 整理し、新たな相談機能体制の構築を目指す。

質問 公園配置計画には、市民のやってみようという企画を支援するところがあるが、今後



フレイル予防を市民に広める活動をしているフレイルサポーター